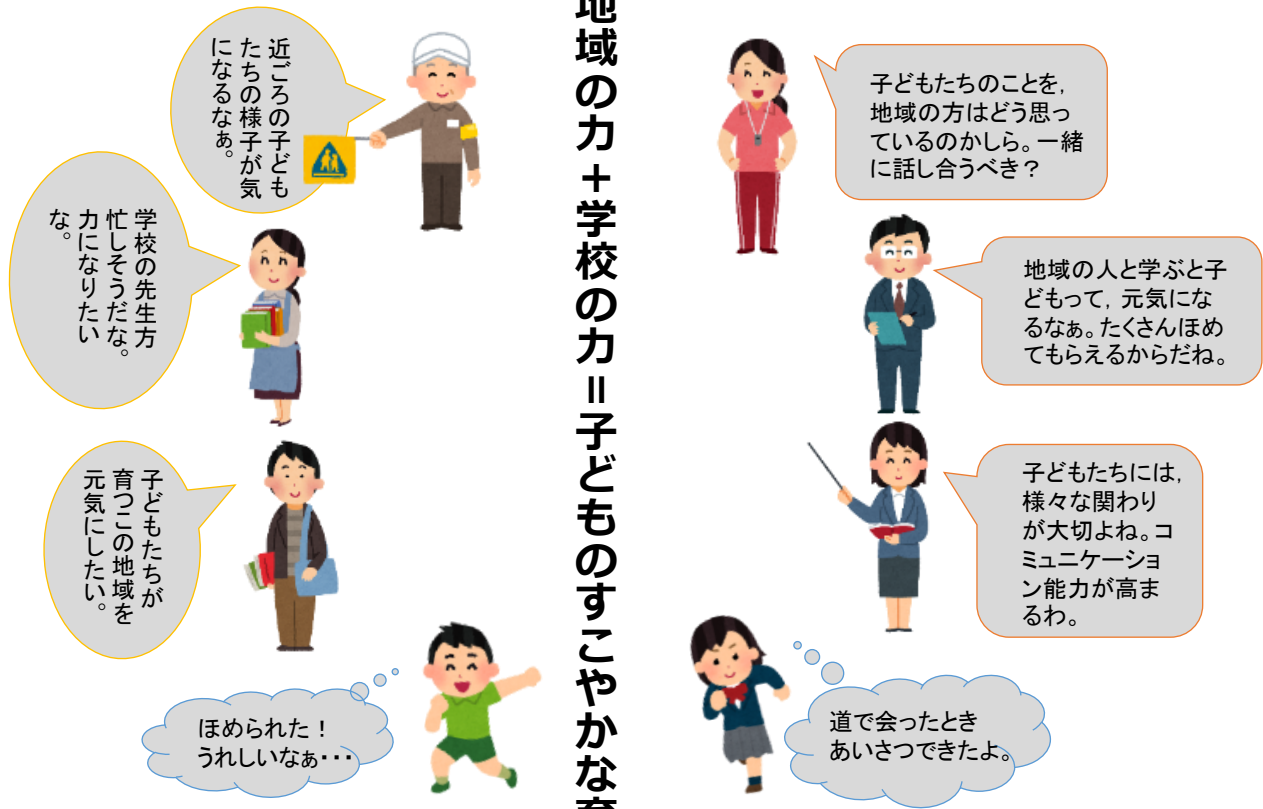


地域の力+学校の力+子どもものすこやかな育ち



多賀城を知り・多賀城を語り・多賀城を誇りに思う子どもを育てる

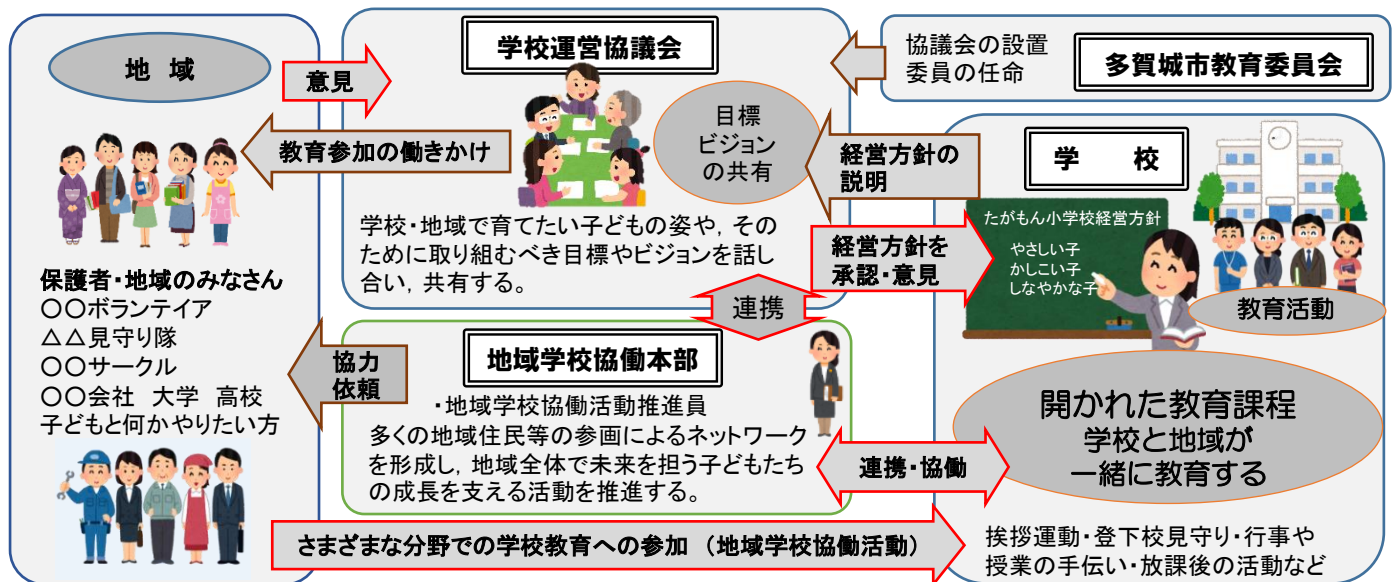
タガコミ

多賀城のコミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは「学校運営協議会制度」のことです。これは、学校・保護者と地域住民等の三者が学校経営の基本方針や、育む「子ども像」などの目標やビジョンの共有を行い、互いの役割を理解・分担しながら力を合わせて子どもたちの教育に組織的に取り組む仕組みです。

これにより、地域の特色や思いを積極的に取り入れながら、教員とともに、地域住民や企業等も子どもの教育に参加し、特色ある「おらほの学校」づくりを進めていくことができます。

多賀城市は、令和5年まですべての市立学校にコミュニティ・スクール導入を目指します。



タガコミスケジュール



○令和3年度〈調査・計画〉

- ・コミュニティ・スクール先進地域視察
- ・PTAとの協議（各学校PTA）
- ・先進校の選定

○令和4年度〈試行〉

- ・先進校の取組の開始
- ・先進校実践報告会
- ・準備委員会の設立

○令和5年度〈完全実施〉

- ・全市立小・中学校での実施



タガコミQ&A

Q
なぜ今、コミュニティ・スクールが必要なのですか？



A
子どもたちに多様な人とのかかわりや体験、学びをさらに充実させるために、学校と保護者、地域が子どもの育ちについて目標、ビジョンを共有し、豊かな育ちのための環境を創り出すことが必要です。

子どもや学校の抱える課題の解決、多賀城の未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、地域の皆さんと共に進める教育の実現が必要不可欠です。コミュニティ・スクールは、その効果が期待できます。

Q
今までのさまざまなボランティア活動で充分ではないでしょうか？



A
すでに学校と素晴らしい活動をしている方々もおられます。今後は、地域学校協働本部のネットワークを生かし、地域の教育力を学校に取り入れていくことで子どもたちの更なる学びの充実を図ることができます。

子どもたちは、様々な年代の方々に学校教育に携わっていただくことで、より多くの関わりや体験が充実し、コミュニケーション能力も高まります。それを長期的に継続できるように話し合っていきます。

Q
学校の先生方にメリットはあるのですか？もっと忙しくなりませんか？



A
児童生徒の安全の確保や詳しい知識をもった方々の支援により、活動が充実しますし、学校運営協議会により継続性が保たれ、長期的に見ると先生方の忙しさは軽減されます。

多くの支援により、教員はゆとりをもって子どもと向き合いながら教育活動を行うことができますし、子どもの良さをよりきめ細かに見取ることができ、指導の充実にもつながります。

Q
地域には、どんな効果があるのでしょうか？



A
それぞれの経験を生かした活動ができたり、地域の子どもたちや保護者と顔見知りになったり、年代を越えた人間関係が広がります。そして、子どもたちが地域をもっと好きになります。

地域の方々は、知識や技能を子どもたちの教育に生かすことで、生きがいや自己有用感につながります。また、地域での生活に潤いや新たな絆が生まれ、活性化が期待できます。

